

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の
てんねんきねんぶつ
天然記念物

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】新見市哲多町田淵
【時代】—
【指定年月日】昭和41年6月11日
【所有】個人
【見学】可



あらとやま
荒戸山

かんけい しまち
関係する市町

にいみ し
新見市



てんねんきねんぶつ この天然記念物について

あらとやま てったちょうたぶち なべ ふ
荒戸山は、哲多町田淵の西方約1kmにあり、鍋を伏せたよう
な形をしていることから昔から「鍋山」として親しまれていま
す。

しんせいだいしんだいきせんしんせい
新生代新第紀鮮新世の終わりごろ、新見市西部から広島県東
部にかけて火山活動が始まりました。この火山活動は陸上の火
山活動であり、ちゅうしんせいびほくそうぐん ようがん
中新世備北層群を貫いて火口から熔岩が流出
し、げんぶがん ようがん しんじょく
玄武岩の熔岩台地が形成されました。その後の浸食により
げんぶがん しんじょく
玄武岩台地は削られ、かつてのマグマの通路の部分が浸食され
ず、つりがねじょう ざんきゅう
釣鐘状の小高い残丘（標高761.9m）として残されたもの
あらとやま
が荒戸山となっています。